

2000年11月28日

次期中期経営計画の骨子について  
(2001年4月～2003年3月)

 **ニチメン**株式会社

<http://www.nichimen.co.jp>

## 計画の骨子

---

**計画期間:** 2ヵ年計画(2001年4月～2003年3月)

---

**目標:** 事業ポートフォリオの再構築による当期利益の最大化

---

**利益目標:** 2003年3月期・(連結)当期利益200億円

---

**重点分野:** 当社が強みとする  
化学品分野(化学品・合成樹脂)、及び  
住・生活産業分野(繊維・食料、建設・木材)

---

**成長戦略分野:** IT事業、生命科学分野等への取組強化

---

# 事業ポートフォリオの再構築

課題	方法・手段	数値目標(00/3比)
商内・事業の選択・集中	資金効率(投下資本利益率)による選別 経費率による選別 業界シェア・市場ポジションによる選別	資本利益率向上 ROA 0.1%⇒1.3% 営業利益率向上 0.7%⇒1.6%
M&A・アライアンス の展開	強みのある分野で積極的に展開	売上総利益拡大 1,301億円⇒1,530億円
販管費削減	グループ人員削減 分社化・ローコストオペレーション推進 グループ会社の販管費削減	販管費減少 1,095億円⇒1,020億円 (02/3)
関係会社の体質強化		
①赤字会社整理	①当期利益拡大の足枷となっている赤字 会社を抜本的に整理	①赤字会社の赤字額を 年間92億円 ⇒ 年間30億円以下に圧縮
②関係会社整理引当損 の抑制	②リスク管理システム強化	②関係会社の整理引当損を 年間53億円 ⇒ 年間30億円以下に圧縮

# 経営管理システムの改革

課題	方法・手段	数値目標
リスク管理強化	事業撤退ルールの運用厳格化 社内カンパニーのリスク管理システム強化 リスク管理教育の強化・徹底	赤字会社の赤字額を年間 30億円以下に圧縮 関係会社の整理引当損を 年間30億円以下に圧縮
資金効率管理	資金効率(投下資本利益率)による社内カン パニー組織(部・課)および関係会社の資金 効率管理 継続的な有利子負債削減管理	資本利益率向上 ROA 0.1%⇒1.3% 有利子負債 ⇒1兆円程度に
組織再編	専門性・機動性重視の社内カンパニー・ コーポレート部門へ改編	3つの社内カンパニーを 7~8の社内カンパニーに
成果主義に基づく業績 評価制度と報酬制度	業績連動型賞与制度の導入 管理職年俸制の導入 教育・研修制度の拡充	従業員モチベーションの 最大化

## 利益・財務計画

連結ベース	次期中期計画		NC-2000		
	03/3(P)	02/3(P)	01/3(E)	00/3	99/3
(単位: 億円)					
売上高	25,500	25,000	25,000	28,619	32,564
売上総利益	1,530	1,370	1,310	1,301	1,285
売上総利益率(%)	6.00	5.48	5.24	4.55	3.95
販売管理費	▲ 1,110	▲ 1,020	▲ 1,070	▲ 1,095	▲ 1,070
営業利益	420	350	240	205	215
金融収支	▲ 80	▲ 85	▲ 85	▲ 73	▲ 56
持分法投資損益	30	10	10	0	▲ 14
特別損益	▲ 30	▲ 50	▲ 120	▲ 145	▲ 484
<b>当期利益</b>	<b>200</b>	<b>120</b>	<b>30</b>	<b>29</b>	<b>▲ 218</b>
期末総資産	14,550	15,350	16,200	16,927	18,875
期末有利子負債	10,000	11,000	12,000	12,418	14,161
期末株主資本	1,400	1,200	1,070	1,288	1,276
DER(グロス)	7.1	9.2	11.2	9.6	11.1
ROE(%)	15.4	10.6	2.5	2.3	-
ROA(%)	1.34	0.76	0.18	0.17	-

# 選択と集中分野

## 集中分野

### ①化学品分野

合成樹脂	電子材料、フィルム、コンパウンド事業、PP樹脂
化学品	農・医薬およびその中間体、炭素製品

### ②住・生活産業分野

繊維	衣料製品、テキスタイル、寝装品
食料	穀物輸入、菓子類、CVS・外食等川下分野
建設	国内マンション事業
木材	輸入木材

# 選択と集中分野

## 選択分野

### ①鉄鋼・非鉄分野

普通鋼・非鉄分野は原則として子会社へ移管  
特殊鋼、石炭、貴金属に集中

### ②プラント・機械分野

船舶(保有・融資)事業は縮小  
航空機も一部商権を除き縮小  
電力・石化プラント、半導体製造設備関連に集中  
自動車は地域・メーカーを限定して集中

以上

将来見通しに関する注意事項

当資料に記載されている内容は種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策などに関する記載については、不確実な要素を含んだものをご理解下さい。